



今年は初日の出が見られなかった

2018(平成30)年元旦、未明から雪模様の今年は初日の出が拝めませんでした。

朝日が昇る地平線付近だけ雲がなく少しの間だけ日が差す朝もありますが、今年は地平線まで白い雲に覆われていました。

また、太陽が昇る方向だけうっすらと雲が橙色に染まる朝もありますが、今年はそれもなく日の出時刻を迎え、太陽がまったく見えないままいつしか空が白く明るくなって終わりました。

天気予報などにより今年は見られないとが考えた人が多かったのか、日の出直前の展望台の人出は100人前後と例年より少なく、駐車場待ちの車の長い列もできなかったようです。

残念、でも自然のことだから、こんな年もあります。



元日7時11分撮影 藻岩山平和の塔も見えなかった

旭山で最近見かけない鳥たち

森の家展示の野鳥パネルを見て「この鳥も旭山にいる(た)んだ」と思われる方もいらっしゃるのでは。

それには、主に天候の異変により渡りのルートが変わってしまいイレギュラーに現れる「迷鳥」と、環境の変化により見られなくなった鳥がいますが、今回はそのうち後者4種の話です。

◎コチョウゲンボウ ハヤブサ科 冬鳥 →右イラスト

その名の通り小型のチョウゲンボウ、旭山記念公園再整備計画が始まった2002年と翌年には秋から初冬にかけて公園内で時々見ることができました。

しかし以降は2005年に一度現れたのみ、それ以外は今年まで旭山での確実な観察記録がありません。

コチョウゲンボウは平野や丘陵地をすみかとし、森林にはいない鳥であり、元々個体数が少ない種であるようで、むしろその2年だけ例外的に旭山にいついたのかもしれませんが。

◎コウライキジ キジ科 留鳥

コウライキジは農耕地など開けた場所とそこに隣接する疎林をすみかとする鳥。

旭山がかつてハゲ山だった頃キジには住みやすい土地でしたが、公園化に伴って植樹が行われ、その木が育って森となることで、1980年代以降はコウライキジが生活できない環境になったと考えられています。

なお、北海道のコウライキジは明治以降朝鮮半島から持ち込まれ放鳥された海外移入種(外来種)です。

◎ゴイサギ サギ科 夏鳥または留鳥

かつて円山西町の民家の先にゴイサギが繁殖する数本の松(アカマツ)がありました。

しかしその松の木が10年ほど前にすべて伐採されてから、旭山でゴイサギを見ることはなくなりました。

◎ムクドリ ムクドリ科 留鳥 →右写真

ムクドリが旭山ではレアな鳥というと、驚く方もいるかもしれませんが。

大通公園にはムクドリが鈴なりに囀をとる木があるなど札幌でもおなじみの野鳥ですが、本来は平野にすむ鳥であり、山にはいません。

旭山でのムクドリの記録はほとんどが住宅街に近い場所でしかも冬に観察されたものですが、ムクドリの場合はすぐ近くにいるので、いつ旭山に来るようになってもおかしくありません。



コチョウゲンボウは
だいたいこんな鳥
大きさハトくらい



「旭山野鳥観察会」「自然観察会」の予定

●「旭山野鳥観察会」は直近が1月13日(土)、その次が2月10日(土)開催となっています。

朝8時「森の家」集合 参加費100円(保険代として) 小雪決行です(警報発令時は中止)。

みなさまのご参加をお待ちしております!

2017年12月から2018年1月の旭山野鳥情報

◎12月から1月にかけての旭山野鳥情報をまとめました。野鳥について詳しくは森の家までお尋ねください！

★今月のシマエナガ情報

この時期は森の家の周りでよく見られます。早朝に限らず日中も現れることがあります。

なお、観察ポイントである第1駐車場の柵沿いには雪が積まれているところも増えていきます、ご注意ください。

★ノスリ：秋からいる幼鳥1個体は1/4時点でまだいました。これからも見られる可能性があります。

◎冬から春に見られる野鳥の動き

★キクイタダキ：展望台の松に午前9時～10時頃によく現れます。風の丘近くとつり橋付近の松にもよく来ます。

★カケス：年末に1週間ほど見られなくなりましたが今はまた園内で見られます。

★シメ：1月上旬に15羽ほどの群れがいましたが普段は1羽から数羽が見られます。

★ウソ：園内で声はよく聞きますが、近くで見られる機会は少ないです。

★マヒワ：ウソ同様声を聞く機会は多いですがなかなか近くで見られません。

★ヒレンジャク、キレンジャク＝ヒレンジャクは1月上旬から見られなくなりました。

キレンジャクは市内の別の場所に来ているようですが旭山では未確認です。

★ツグミ：数羽が常に園内で見られます。

◎1年中見られる鳥＝留鳥の動き

☆クマゲラ：12月下旬以降園内で見られる機会が増えました。

☆ヤマゲラ：ほぼ毎日声が聞かれ時々近くで姿が見られます。

☆オオアカゲラ：ここひと月は主に西側エリアで時々見られました。

☆ハシブトガラ、ヒガラ、ゴジュウカラは囀りを始めました。ヒガラは松で囀りしていることがよくあります。

他のカラ類は囀りはまだです。

☆シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、コゲラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス：よく見られます。

■キバシリがない

旭山では秋になると山から降りてきて4月まで見られるキバシリ、去年はほぼゼロ、今年も10月から11月に声が聞かれましたが、積雪後は確認情報がありません。

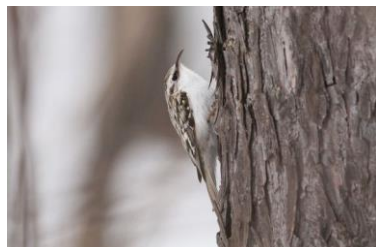
2月に雪の中できれいな声で囀るキバシリにいったい何があったのでしょうか。



今月のシマエナガ



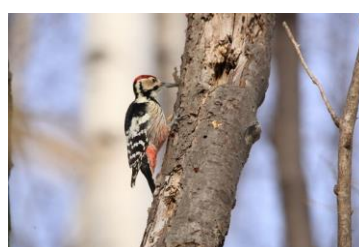
たくさん穴をあけたクマゲラ



この冬はキバシリを探そう



展望台の松に来たキクイタダキ



この冬は目撃が多いオオアカゲラ雄

森の家スノーシュー貸出が今年から無料になりました

森の家では今年からスノーシューを無料で貸し出しております。

【イベントご案内3件】

・冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう：1月20日（土）17時点灯

・スノーシューウォーク：1月28日、2月25日、いずれも日曜日

10時～11時半頃 100円

・旭山冬のフェスティバル 2018：2月12日（月・振休）10時 詳細後日

大人 200円 小中学生 100円＋豚汁 100円



編集後記

まだ雪が少なかった12月、園内のところどころで雪が解けて地面が見える場所がありました。そこだけ温度が高いということなのでしょうけれど、まさか温泉なんて、出ないでしょうねえ・・・



関係ないけど・・・
誰かが作った雪の兎→



公式サイト

「アカゲラ通信」 第49号 2018（平成30）年1月8日発行

発行：（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311（土・日・祝日 10時～16時）FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>